

市の鳥



カワラヒワ

広報えひな

編集・発行
海老名市役所秘書広報課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31-2111

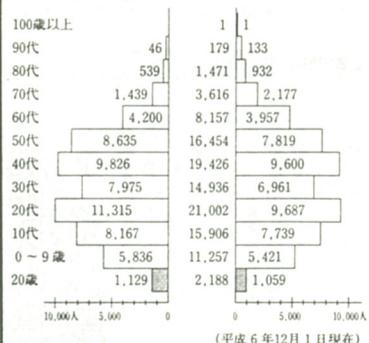
この広報は再生紙を使用しています。

新成人2096人誕生!



人口ピラミッド

男 57,978人 合計 112,405人 女 54,427人



20歳は総人口の1.9%

平成6年12月1日現在、市内の20歳の方は2,188人で総人口の1.9%に当たります。また、市内の平均年齢は男35.5歳、女36.7歳、全体では35.6歳です。

新天地に立つ若い力

20歳になつたら…

まず、20歳(はたち)と聞いて連想することは何ですか。『選挙権がもらえる』『自立しなければならない』『社会の一員』。社会人の実感はありますか。『お酒が飲める』『特にまだありません』。20歳になると社会人の仲間入りと言われますが、どんなことで感じますか。

「国民年金を支払わなければならないこと」「選挙権を持ち政治の一部に関わること」「自分が行動で全て責任を持たなければならぬこと」「短大卒業して、4月から働き始める」と。今、両親について、何か感じることはありますか。

今まで、お世話になつたことはありますか。

1月15日は成人の日。市内で20歳を迎える新成人は、2千96人です。20歳になると、社会的にも法律的にも大人として認められ、選挙権や国民年金の納付など、さまざまな権利や責任をもつことになります。今回は、海老名市成人式運営委員25の方に、20歳を迎えての感想や心構えを聞いてみました。

夢をかなえる
新たなスタート

とを感じ、これからは私が手助けしてゆきたい』今までより、決断力をもつて責任せしめよう』など精神面においても、支えてあげたい。

20歳になっての心構えは、何でも精神面においても、支えてあげたい。『自分の考えをしっかりと持ち、正しいことを押し通す意志のある人になりたい』『自分の言動に責任が持てるようになりたい』『成人式運営委員に応募したきっかけは何ですか』

「自分たちの成人式をきちんと見ておきたかったから』成人として、社会に貢献したといふ思い出を作りたかった』『うと思いつけて作ったかった』『自分がかえつてきました』『新成人のみなさん、きっと1月15日が、『夢をかなえる新たなスタート』になることでしょう』



▲おだやかに初もうで

おだやかに明けた平成7年元旦、国分北の弥生神社には初もうでは身近な神社で、1年の願いを胸にした初もうで客がおとずれていた。

フォトピックス

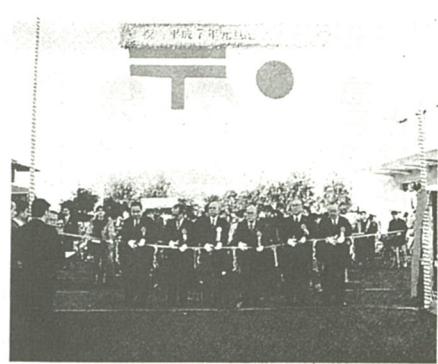


今年はきっと良い年に、願いを込めた書初め

◀ 元旦マラソン2つ ▶



市内中野の八幡宮では「君と走ろう新春の中野路」と銘打った元旦恒例のマラソン大会が行われ、約60人がすがすがしい汗を流した。



▲元旦の配達は199万通

元旦の午前8時30分から海老名郵便局で年賀状の配達式が行われ、早速郵便局員らが各家庭へと向った。



市内杉久保の豊受大神をスタート・ゴールに約2kmを走る親子マラソン大会には、約200人が集り、無病息災の願いを込めて完走した。



第341話

吉祥樹のはなし

さしうきうじ

古くから宅地内には、必ず植えておくべきだと言われている木がある。これを「吉祥樹」といい、それぞれの土地や個々の家によつて多少の違いはあるが、いずれも日常生活の充足や健康のため、幸運の家運の隆盛や子孫の幸福を祈つたもので、身近でどこにでもあるのは「南天」だろう。

南天の箸が無病長命の秘訣だと、親指のように太い箸を自慢していた。赤い実は観賞用の価値もあり、花材の乏しい冬期には珍重されたので、万人に親しまれる吉祥樹といえるだろう。

「橙」と「譲葉」は正月飾りには欠かせないものだ

が、橙は冬は黄色に熟すがそのままにしておくと、翌年に再び緑色になつて新しい実が生るまで残っているし、譲葉は若葉が伸びてから古い葉が落ちるので、親が成長した子供にあとを譲るのにたどり、共に目出度い木の代表とされている。

「蜜柑」の仲間はみんな吉

祥樹とされているが「橘」は日本の特産種で、京都御所



▲南天

▲橙と譲葉

かるので、大きい柚子の木は旧家の証といわれた。桃栗三年柿八年、梨の阿呆が十六年などといふのが、その年に渡して、柚子のおとぼけ二十五年」と歌われるのは、なかなか実が生らないからである。

「梅」は家運を象徴するといい、よく生る家は上り身代で病人が出ないと云うのは、家族が健康でよく働けば梅の手入れも十分にできるといふ

ことと逆説的についたもの

で、同時に梅の効用を強調したものだ。梅は、裸で木

登りができる程、枝を開けられると、葉は日本料理に珍重さ

れるが樹皮は薬用にする。毒

消しの効果があるので、捕子

古くから宅地内には、必ず植えておくべきだと言われている木がある。これを「吉祥樹」といって、それぞれの土地や個々の家によつて多少の違いはあるが、いずれも日常生活の充足や健康のため、幸運の家運の隆盛や子孫の幸福を祈つたもので、身近でどこにでもあるのは「南天」だろう。

南天の箸が無病長命の秘訣だと、親指のように太い箸を自慢していた。赤い実は観賞用の価値もあり、花材の乏しい冬期には珍重されたので、万人に親しまれる吉祥樹といえるだろう。

「橙」と「譲葉」は正月飾りには欠かせないものだ

が、橙は冬は黄色に熟すがそのままにしておくと、翌年に再び緑色になつて新しい実が生るまで残っているし、譲葉は若葉が伸びてから古い葉が落ちるので、親が成長した子供にあとを譲るのにたどり、共に目出度い木の代表とされている。

「蜜柑」の仲間はみんな吉祥樹とされているが「橘」は日本の特産種で、京都御所

どこの家にもあったが、杏は仙人が食べたものだという。その中にあらゆる苦い肉質は薬用にする。

「柿」の古木は柿子と共に古くから宅地内には、必ず植えておくべきだと言われている木がある。これを「吉祥

樹」といって、それぞれの土地や個々の家によつて多少の違いはあるが、いずれも日常生活の充足や健康のため、幸運の家運の隆盛や子孫の幸福を祈つたもので、身近でどこにでもあるのは「南天」だろう。

南天の箸が無病長命の秘訣だと、親指のように太い箸を自慢していた。赤い実は観賞用の価値もあり、花材の乏しい冬期には珍重されたので、万人に親しまれる吉祥樹といえるだろう。

「橙」と「譲葉」は正月飾りには欠かせないものだ

が、橙は冬は黄色に熟すがそのままにしておくと、翌年に再び緑色になつて新しい実が生るまで残っているし、譲葉は若葉が伸びてから古い葉が落ちるので、親が成長した子供にあとを譲るのにたどり、共に目出度い木の代表と

されている。

海老名むかしむかし

333・3838

電話で海老名の昔なしが聞けます。
1月11日～2月1日 第15話 寿司山の七不思議
2月2日～2月22日 第16話 義民・鈴木三太夫